

みなさんからの請願・陳情  
(委員会審査状況)

陳情第六号

国民健康保険への国庫負担増額を求める陳情  
(提出者)  
宇都宮市宝木町  
二一〇一七七八

栃木県社会保障推進協議会  
会長 大根田 紳

(陳情の趣旨) 国民健康保険への国庫負担金が減らされ、国保税を増税する自治体が増えている状況であるため、国庫負担金を増やすよう国に意見書提出を求めらるもの

(民生常任委員会審査の内容・結果) 国民健康保険の保険者として市が医療機関へ支払う保険給付費については、国による国庫負担金を含めた各種支援助制度があり、本陳情でどの部分について増額を求めているのかが、くみ取るのが難しく、提出者の考えを確認する必要があります。

また、陳情趣旨にあります国の補助金が大幅に削減されたことと保険税を増税することとの関係について、国においては、本年四月の改正により国保財政基盤強化や財政支援の強化を図っており、一概に補助金削減と保険税増税の論理が成り立たないのではないかと、意見もありました。

採決においては、全会一致で継続審査となりました。

議会活性化推進特別  
委員会第一次答申書提出

議会活性化推進特別委員会では、平成二十四年八月二十四日に委員長及び副委員長から議長へ第一次答申書を出しました。

今回、議長へ提出した第一次答申は、議場での議員の呼び方や本会議での質疑の回数制限の見直しなど四項目について答申するものであり、九月定例会から取り組みを求める内容となっております。

当特別委員会では「市民にわかりやすい議会」並びに「議員活動の活性化」をテーマに掲げ、各委員から六十四の改善項目(追加含む)が出され、委員会設置から第一次答申提出まで計十回にわたり会議を重ねてきました。

今現在も月二回のペースで会議をしています。一般質問の自由討議の導入、議会の自由討議の導入、議会報告会の開催、委員会の活性化、議会基本条例の制定などがあります。

今後、残りの項目についても精力的に改善に向けて取り組み、第二次、第三次と答申してまいります。

改善項目一覧

項目	変更前	変更後
① 議場での議員の呼び方	議員の議席番号のみ発言	「議席番号、議員氏名、君」の順に発言
② 本会議での質疑の回数制限の見直し	2回まで	3回まで
③ 通告内容が重複した場合の答弁のあり方	「〇〇議員に答弁したとおり」等の答弁	質問趣旨に沿うような答弁とするよう執行部に要望
④ 会議録の公開方法	大田原図書館に配備、ホームページで閲覧可能	9月定例会分から11の地区公民館に新たに配備します



議長へ第一次答申書を提出

那須市町村議会  
議長会主催勉強会

那須市町村議会議長会主催による議員勉強会を九月二十八日(金)、全議員が参加し、那須地区広域研修センターで開催されました。

勉強会は、元全国都道府県県議会議長会議事調査部長の野村稔氏を講師に迎え「地方議会のあり方」についてと題して、講演がありました。

野村氏は、全国の地方議会の運営や議会改革の状況を把握、経験しており、様々な角度から事例を交え話されました。地方議会のあり方については、「監視、提言を充実する」、「住民のために政策論争をする」、「施策の優先順位を提言する時代となった」、との話でありました。

今後の議員活動の一助になるものと思われまます。

また、本議会において、現在議会活性化推進特別委員会にて、議会改革を含めた議会のあり方を論議し、開かれた議会、議員活動に向けた答申(第一次答申)を出したところです。

訃報  
故増淵 寛江 議員



本市議会、増淵寛江議員が去る九月二日に逝去されました。

増淵氏は平成十八年三月に実施された大田原市議会議員補欠選挙で初当選以来、連続三期当選され、民生常任委員長、地方行政等調査特別副委員長の要職を歴任し市政の発展にご尽力いただきました。

志半ばでお亡くなりになった増淵氏に対しまして、ここに哀悼の意を表し、謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

